

報道関係者各位

2025年12月3日
野村不動産ホールディングス株式会社

リリースカテゴリ：サステナビリティ

車いすご利用の方・視覚障がいのある方とのインクルーシブデザインによるプロダクト
「BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S」へのアクセシビリティ・マップを公開
— 多様な視点を活かした新たな価値の創造 —

本ニュースリリースのポイント

1. ダイバーシティ&インクルージョン推進の柱として、「インクルーシブデザイン」を推進
2. 車いすご利用の方・視覚障がいのある方と当社グループ社員等が協働し、実地調査等のワークショップを実施
3. 周辺駅から来館する際の道案内やその過程の注意点等を示した「アクセシビリティ・マップ」を作成

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長：新井聡、以下「当社」）は、2022年に策定した「野村不動産グループ ダイバーシティ&インクルージョン推進方針」において、事業活動を通じて社会の多様化するニーズにお応えしていくために、多様な視点を活かす「インクルーシブデザイン」などの推進に取り組んでいます。「インクルーシブデザイン」について当社グループでは、「商品・サービスづくり等のプロセスへ多様な背景・価値観を持つ人々の参画により、新たな気づきを得て、まだ見ぬ価値を創造するための手法」と定義しており、ダイバーシティ&インクルージョン推進の柱として、この「インクルーシブデザイン」を掲げています。

このたび、この取り組みの一環として、本年8月より当社グループ本社を構える「BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S」に、障がいのある方が来館される際に役立つ「アクセシビリティ・マップ」を、インクルーシブデザインの手法を用いて作成し、「BLUE FRONT SHIBAURA」施設サイトおよび、当社コーポレートサイトにて初公開しましたので、お知らせいたします。

【「アクセシビリティ・マップ」URL】

BLUE FRONT SHIBAURA 施設サイト：<https://www.bluefrontshibaura.com/barrier-free/>

当社コーポレートサイト：<https://www.nomura-re-hd.co.jp/company/barrier-free.html>

【インクルーシブデザインによるワークショップの様子】



1. 車いすご利用の方・視覚障がいのある方に向けたアクセシビリティ・マップについて

このたび公開した各アクセシビリティ・マップは、事前にご確認いただくことで安心してご来館いただくための情報です。今後もアクセシビリティ・マップ作成で得た知見をインクルーシブなまちづくりに活かしてまいります。

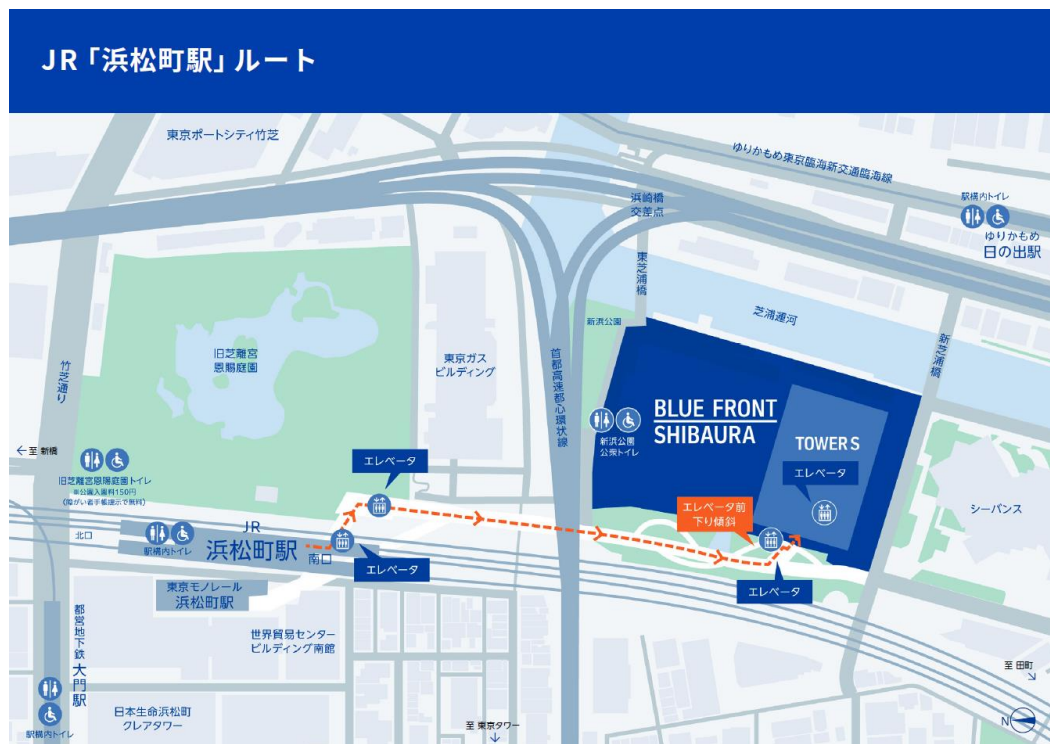
<制作したマップの概要>

ルート	以下の周辺 3 駅から BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S へのアクセス <ul style="list-style-type: none"> ・山手線／京浜東北線・根岸線／東京モノレール「浜松町駅」 ・都営大江戸線／都営浅草線「大門駅」 ・ゆりかもめ「日の出駅」
マップの種類	①車いすご利用の方向け：浜松町駅、大門駅、日の出駅の各駅からのアクセス <ul style="list-style-type: none"> ・全体マップ：駅から施設まで、エレベータやバリアフリートイレの位置等も含めたマップ ・詳細マップ：工事中エリアや傾斜がある場所、エレベータの位置・定員数等の情報も交えて、写真付きで案内 ②視覚障がいのある方向け：浜松町駅からのアクセス <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンやスマートフォンの音声読み上げ機能と共に利用する言葉の道案内
作成方法	インクルーシブデザインの手法を取り入れ、当事者（車いすご利用の方・視覚障がいのある方）と当社グループ社員がフィールドワーク・ディスカッションを実施しながら作成。当社代表取締役社長・副社長もワークショップに参加。




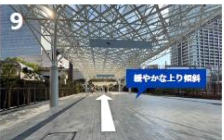












※アクセシビリティ・マップはルート周辺の状況に応じ随時更新する予定です。

【車いすご利用の方向けのマップ】

■全体マップ



■ 詳細マップ 一部抜粋

 <p>1 JR「浜松町駅」南口改札を出て、目の出機橋／金杉橋方面へと直進します。</p>	 <p>さらに芝浦方面へ直進すると、左手に工事中のエリアがあります。(2025年9月現在)</p>	 <p>8 直進します。歩道に屋根はありません。</p>	 <p>9 広い歩行者専用道路を直進します。しばらく緩やかなり傾斜が続きます。歩道には屋根があります。</p>
 <p>2 突き当たりを左に曲がると、階段右側にエレベータがあります。</p>	 <p>3 エレベータで芝浦階に上ります。(定員26名。降り口は乗り口と反対側です)</p>	 <p>10 しばらく直進すると屋根が狭くなり、右側に店舗が見えます。ここからはゆるやかな下り傾斜が続きます。</p>	 <p>11 左側の大きな階段のある建物がBLUE FRONT SHIBaura TOWER Sです。階段左側のエレベータに進みます。(下り傾斜があります)</p>
 <p>4 エレベータを出て直進し、ひとつ目の角を右に曲がります。</p>	 <p>5 右奥のエレベータまで進みます。</p>	 <p>12 エレベータでM階から2階へ上ります。1階店舗へはM階から1階へ下ります。(定員13名。いずれも降り口は乗り口と反対側です)</p>	 <p>13 エレベータを出て右へ進むと、BLUE FRONT SHIBaura TOWER Sのオフィスエントランスです。左へ進むと2階店舗があります。</p>
 <p>6 エレベータで1階に下ります。(定員26名。降り口は乗り口と同じ側です)</p>	 <p>エレベータを出て、左側にUターンします。</p>	 <p>14 オフィスエントランスに入り、エスカレータ右側の通路を奥に進みます。</p>	 <p>15 突き当たりを左に曲がります。</p>

【視覚障がいのある方向けのマップ（スマートフォン等の音声読み上げ機能と共に利用する言葉の道案内）】

JR浜松町駅からブルーフロント芝浦

ブルーフロント芝浦までのJR浜松町駅 南口改札からおおよそ徒歩10分、距離500メートルの道案内を、10ステップで行います。このルートには屋根があります。目的地はJR浜松町駅 南口改札を背に11時の方向です。JR浜松町駅 南口改札から点字ブロックに沿って、歩行者専用通路を進みます。途中、のぼりくだり合わせて3回階段があります。歩道からブルーフロント芝浦の敷地へは点字ブロックがつながっていません。必要に応じて周囲の人に声をかけてください。

※ 本道案内は2025年9月時点での情報です

- JR浜松町駅南口 改札の一番右側、駅員のいる改札口から続く点字ブロックを進みます。途中で警告ブロック1箇所を通過します。曲がり角の警告ブロックを左に曲がり、11メートル進みます。改札口の前を横切するため、他の歩行者に注意してください。
- 曲がり角の警告ブロックを右に曲がり、40メートル進みます。途中で警告ブロック1箇所、点字ブロックが20センチメートル途切れる箇所を通過します。
- 曲がり角の警告ブロックを右に曲がって少し進み、分岐の警告ブロックを左に曲がって11メートル、途中で点字ブロックが20センチメートル途切れている箇所を通過し、次の分岐の警告ブロックを左に曲がって15メートル進むとのぼり階段です。
- のぼり階段は全部で20段です。途中に踊り場があります。
- 階段をのぼり、点字ブロックを50メートル進みます。途中で警告ブロック2箇所を通過します。曲がり角の警告ブロックを右に曲がり30メートル進むとくだり階段です。
- くだり階段は全部で46段です。途中に踊り場が2箇所あります。階段をくだり点字ブロックを進みます。途中で点字ブロックが35センチメートル途切れる箇所、警告ブロック1箇所を通過すると、再びくだり階段です。
- くだり階段は全部で22段です。途中で踊り場があります。
- 階段をくだったら、点字ブロックを少し進み、曲がり角の警告ブロックを右に曲がって少し進み、次の分岐の警告ブロックを左に曲がって130メートル進みます。途中で点字ブロックが14センチメートル途切れる箇所、13センチメートル途切れる箇所、警告ブロック3箇所を通過します。また、首都高速道路の下を通ります。
- 曲がり角の警告ブロックを右に曲がって少し進み、曲がり角の警告ブロックを左に曲がり、140メートル進みます。左に曲がったすぐ先の左側に柱があります。
- 140メートル進んだ左側が、ブルーフロント芝浦の入口です。点字ブロックは敷地につながっていません。必要に応じて周囲の人に声をかけてください。

2. インクルーシブデザインによるワークショップ概要

このたびのアクセシビリティ・マップ制作にあたり、2025年7月より、計3回にわたり当事者を交えたワークショップを実施しました。「移動に困難を抱えやすい障がい」に配慮するため、「車いすご利用の方」「視覚障がいのある方」を対象とし、社内外併せて延べ116名が参加しています。

<ワークショップ概要>

- ・第1回：周辺駅からBLUE FRONT SHIBAURA TOWER Sまでのルートを当事者と共に移動しながら調査し、車いすご利用の方に必要な情報を吸い上げ、その情報を基にアクセシビリティ・マップの草案作成に反映させるワークショップを実施。
- ・第2回：第1回の調査を踏まえて作成したアクセシビリティ・マップを利用して再度当事者と共に移動し、当事者が真に必要な情報を精査するワークショップを実施。
- ・第3回：視覚障がい・ガイド体験を通じ視覚障がいの特性について理解を深めると同時に、言葉によってルートを示す言葉の道案内でナレーター機能を利用しながら視覚障がいのある方と共に移動することにより、言葉の道案内を作成するワークショップを実施。

今後も当社グループは、「野村不動産グループ ダイバーシティ&インクルージョン推進方針」のもと、すべての従業員がそれぞれの個性と能力を最大限に発揮し、多種多様な組織・人びとと共に手をとりあって挑戦し続けることで、新たな価値を創造していきます。

<野村不動産グループ ダイバーシティ&インクルージョン推進方針>

URL：<https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/pdf/dip.pdf>

また、当社は公益財団法人日本パラスポーツ協会（JPSA）のオフィシャルパートナーとして同協会およびパラアスリートを応援しております。

「野村不動産グループ ダイバーシティ&インクルージョン推進方針」に基づき、当社グループにおいて、企業内アスリートの雇用・支援を行っており、現在8名の障がい者アスリートが各方面で活躍中です（2025年12月2日時点）。



【公益財団法人日本パラスポーツ協会 ロゴマーク】

【ご参考①】障がい者アスリートの活躍 〈野村不動産パートナーズ株式会社〉



西 勇輝選手
パラ陸上（車いす短距離）

2025年6月
「2025 ジャパンパラ陸上競技大会」
男子 T54 100m 1位
男子 T54 400m 1位



長野 凌生選手
パラ水泳

2025年9月
「2025 ジャパンパラ水泳競技大会」
男子 S21 50m 自由形 1位

〈野村不動産ライフ&スポーツ株式会社〉



加藤 茜選手
パラ陸上

2025年4月
「第36回 パラ日本選手権」
100m 1位、200m 1位（日本記録）
400m 2位、走幅跳 4位



本中野 雅選手
CPサッカー※1

2025年11月
インドネシアにて国際交流戦出場



梅村 俊佑選手
FIDサッカー※2

2025年6月
フランスにて国際交流戦出場



伊藤 建史郎選手
パラサーフィン

2025年11月
「isa world para surfing champion
ships oceanside california」
スタンド2クラス 優勝
※2025年ツアーランキング 1位
（ワールドチャンピオン）



江尻 弓選手
パラクライミング

2025年10月
「パラクライミングワールドカップ」
Womens B3クラス 2位



江尻 元洋選手
パラクライミング

2025年10月
「パラクライミングワールドカップ」
Mens B2クラス 5位

※1 「CPサッカー」…脳性まひ者7人制サッカー

※2 「FIDサッカー」…知的障がい者サッカー

【ご参考②】

野村不動産グループの 2030 年までのマテリアリティと SDGs について

野村不動産グループ マテリアリティ		
本リリースの取組が該当するマテリアリティ	野村不動産グループの取組特色	本リリースの取組が特に貢献するSDGs(持続可能な開発目標)
DIVERSITY & INCLUSION ダイバーシティ & インクルージョン	D&I推進方針の施策や、多様な人材の活躍を促進することを通じて社会ニーズに応えられる商品・サービスを提供していきます。	

※野村不動産グループの重点目標（マテリアリティ）を国連の SDGs（持続可能な開発目標）に当てはめて整理しております。

サステナビリティの取組み詳細は以下をご確認ください。

URL : <https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/>

【ご参考③】

野村不動産グループ 2030 年ビジョン「まだ見ぬ、Life & Time Developer へ」の実現を目指し、グループ全体で、人びとの「幸せ」と社会の「豊かさ」の最大化を追求するため、2025 年 4 月に新たな経営計画を公表しました。

＜経営計画における 3 カ年計画の事業方針＞

基本方針	グループ全体で事業量の拡大を図り、持続的な成長を実現しながら、バランスシートを適切にマネジメントし、高い利益成長と高い資産・資本効率を両立する。
事業方針	基幹事業 分譲住宅事業・オフィス事業において、デベロップメント分野とサービス・マネジメント分野の連携を一層強化しながら商品企画力とサービス力を向上させ、確固たるポジションを構築する。
	持続的な成長に向けて、以下5つに注力する。
	注力領域
	1 成長事業（賃貸住宅、ホテル、シニア住宅、物流施設）への重点的な投資
	2 開発事業、賃貸事業における投資家資金の導入
	3 グループ内連携、野村グループとの連携の強化
4 海外事業の将来収益拡大に向けた取り組み	
5 戦略投資（M&A）による成長の加速	

※3 カ年計画は長期経営方針を基に、今後 3 カ年で注力する事業方針を示したものになります。

※経営計画の詳細は【[野村不動産グループ 経営計画](#)】をご確認ください。